

「非常事態」となっている福島第一原子力発電所の汚染水問題について 国が全面的に責任を持ち政府直轄で解決することを求める意見書

福島県浪江町町議会

(前略) 安倍総理は国際オリンピック委員会 (IOC) 総会のプレゼンテーションで「状況はコントロールされている」「影響は港湾内で完全にブロックされている」「将来も健康に問題はないと約束する」「必ず責任を完全に果たす」などと述べた。しかし、安倍総理の発言は事実と反する重大な問題があると考えられる。

一つは、現実には地上タンクからは、大量の高濃度汚染水が漏れ、地下水を汚染し、湾内に流出し、汚染水が防波堤の開口から外海へ流出していることは誰の目にも明らかである。したがって「コントロール」「完全にブロック」などされていないということ。

二つは、原発避難は「健康に問題はない」どころか、原発事故から2年半が過ぎた今でも「震災関連死」は浪江町だけでも290名を超え、県内では1459名になり原発事故関連死はいまも増え続けている。また放射線被ばくによる健康被害は被災町民のみならず県民、国民の大きな不安となっている。・・・(後略)